

平成29年度 第1回 学校協議会

日 時： 平成29年6月26日(月) 16:00~17:30

場 所： 本校 校長室

参加者： 学校協議会委員（福永氏、中村氏、高木氏、山崎氏、志賀氏、村上氏）
浅田校長、及び 事務局（平野教頭、中川首席、境谷首席）

校長挨拶

今年度の学校協議会は、かねてより泉陽高校のことをよくご存じの方々に委員をお引き受けいただきました。今年度は、校長として3年目を迎え、仕上げの年と考えています。ますます学校をよくしていくために、皆さまの支援をお願いいたします。

委員紹介	大阪教育大学 教授 福永 光伸 様	立志館ゼミナール 中村 俊一 様
	堺市役所 山崎 久樹 様	しまだ病院 志賀 亮子 様
	同窓会 副会長 高木 学 様	PTA 会長 村上 修一 様

委員の方々から、自己紹介をいただいた。

委員長の選出 福永氏を選出

報告

- 報告① 平成30年度使用教科書図書選定の調査研究について、教頭より報告
- 報告② 平成29年度学校経営計画について、校長より報告
- 報告③ 平成28年度進路実績について、校長より報告

協議

はじめに、山崎委員より、学校パンフレットに記載されている進路実績について、何を課題と受け止めているかと質問があった。校長より、昨年度は大阪市立大学の志望者が一昨年より多くなり、関西学院大学や立命館大学の志望者が減った。泉陽高校は国公立大学の志望者がもとより多く、一般的に国公立大学は教育のきめ細やかさという点で優れているところもあり、学校全体としても合格者を伸ばすことを目標としていると説明した。

次に、志賀委員より、1年初めのスタディーサポートの結果と進路実績を比較すると、さらに実績を伸ばせるのではないかと。村上委員より、京都大や東京大などへの合格者を毎年出せると難関大学への心理的ハードルが下がり、周りの生徒の士気があがるという波及効果が期待できる。とご意見をいただいた。校長より、入学時の学力維持は大阪府立高校全体の課題であるが、取り組みを始めて3年目になる本校の3年生は、学力を定着させ、ここ数年の中でもっとも伸びを見せている。国公立大学に現役生の40%が進学し、京都大学にも数名は合格できるようなデータが出ていると説明した。村上委員より特に現代文の読解力や語彙力が学力の質を高めるのに有効であり、また高木委員からは、生徒は将来社会の最先端で働くことについてのイメージが不足している。高い志を持たせることが、学習意欲をわかせることにつながるのと教示をいただいた。また、中村委員からは、生徒の志は自発的につけるもので、教師や保護者が持たせるものではない。将来にどのような可能性があるのか、生徒に情報提供を惜しまない姿勢が大切であるご意見をいただいた。山崎委員より、偏差値が高いことと仕事ができることが異なる場合もあるが、泉陽高校はいわゆる仕事のできる人を地域にたくさん輩出していると思う。変革も必要だが、変えてはいけないことではないかとご意見をいただいた。校長からは、生徒が主体的に行動する自由な校風が総合的な人間形成に役立っていると説明した。

最後に、校長より、次回の学校協議会はぜひ授業を見学いただき議論を深めたいと委員へ依頼し、開催日程を調整することとした。